



## 熊谷市立新堀小学校

校長 福島 宏之

「所感」 作詞者 黒田 梅之助

校歌を作るよう依頼されてから、時々、新堀小学校へ行き、周囲の景観を視ながら、いろいろ考えました。

一 校歌誕生のいきさつ  
新設校で、感激も新たなうちに、校歌が欲しいという声が上がリ、職員、PTA役員の間で再三話し合い、次のように決まりました。作詞については、未永く残るものなので、本校のことをよく知り、人格的にも立派な人をお願いしたいとの希望から、当時の市長・黒田氏に依頼しました。作曲については、三角PTA副会長から、当時、スイング・ビーバーズ・バンドリーダーの小野満氏にお願いしました。

二 校章誕生のいきさつ  
人間形成の上で大事な時期に、新堀小学校に通う児童の皆さんは、元気で仲よく、友達を大切に  
する、心やさしい人になって欲しい。また、スポーツや遊びを通して体を鍛え、希望にもえて頑張  
って欲しい、との思いをこめて作りました。元氣  
に歌ってください。

地域の方に関心を持ってもらうために、新堀地区・児童・教職員より原案を募集。多数の原案をもとに、子どもらしさがあり、新堀小がはつきりわかり、作図が容易であることを条件に、数名の案をミックスして、美術に堪能な森田芳一氏（元熊谷市教育長・新堀小学校開設準備委員長）に依頼。堀と太陽と櫻と四つの教育目標（創造・健康・協力・情操）を表わした校章ができあがった。

両氏の熱意で生み出された、この素晴らしい校歌は、地元地域の誇りでもあり、卒業生にとっては、心の支えとなる歌になっています。

# 熊谷市立新堀小学校 校歌

きくらのさいた ~ こ お ~ てい に  
 げんきなこえが わきあがる み ん ~ な なかよ ~ し ~  
 て を と り て ~ こ こ ろ ゆ た か に す す も う よ わ れ  
 ら ~ が に い は ~ り ~ しよ ~ が つ こ う

**校歌**  
 黒田海三助 作詞  
 小野 満 作曲

桜の咲いた校庭に  
 元気の音が響きあがる  
 みんな仲良く手をとりて  
 心豊かに進もうよ  
 われらが新堀小学校

秋風の峰を遠く見て  
 通り六年の学舎に  
 眩いよ子の意気高く  
 明日を目指して鍛えよう  
 われらが新堀小学校

けやきの落葉 霜の朝  
 みんなのひまみ輝いて  
 未来を拓く夢えがき  
 希望に燃えて学ぼうよ  
 われらが新堀小学校